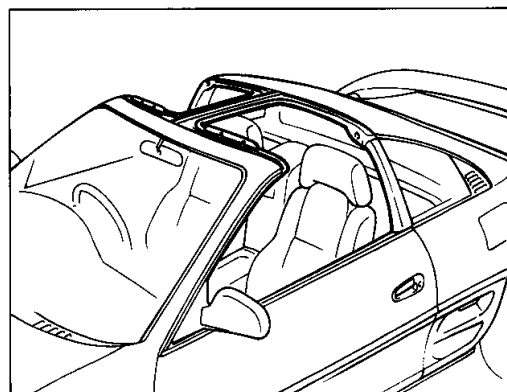


Tバールーフ.....84
 トラクションコントロール(TRC).....87
 4輪ABS.....89
 SRSエアバッグ.....90



Tバールーフ

装着車あり

Tバールーフはルーフの左右が別々に脱着でき、ルーフ内の内側にはサンシェードも備えられています。



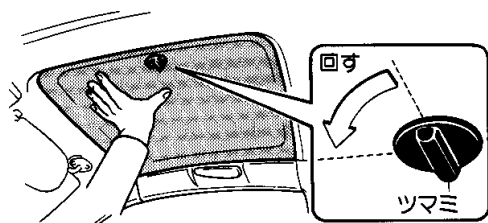
注意!

1. ルーフラック、スキーラックなどはガラスルーフ部に取りつけないでください。ガラスルーフを損傷させるおそれがあります。
2. ルーフラックは、トヨタ純正のTバールーフ車専用ラックをご使用ください。

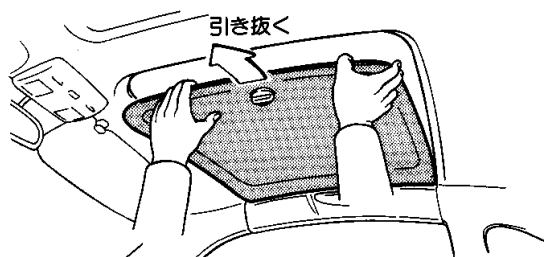
サンシェードを脱着するときは、サンバイザーを下げてから脱着操作を行います。

▶サンシェードの取りはずし方

1. LOCKつまみを左に90°回してロックをはずします。



2. サンシェードを室内側に引き抜きます。

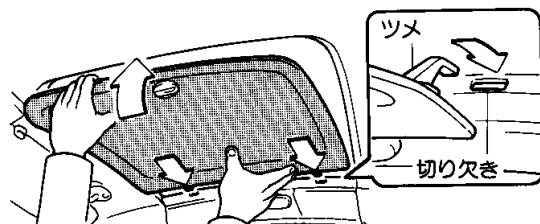


注意!

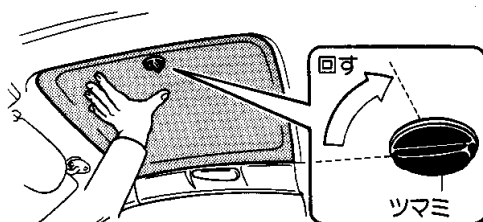
1. 走行中はサンシェードの脱着操作を絶対にしないでください。

▶サンシェードの取り付け方

1. サンシェード側面のツメをルーフ側面の切り欠きにあわせて差し込みます。



2. LOCKつまみを右に90°回してサンシェードを固定します。

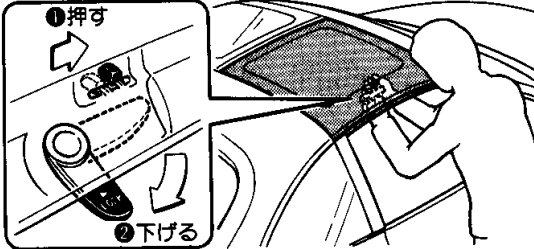


注意!

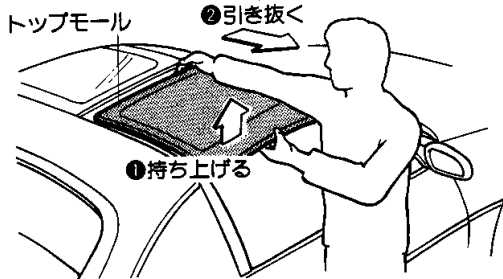
1. 取り付けは正確に行い、必ず各部が固定されているか確認してください。
2. サンシェードは左右それぞれ専用ですので取り付けるときは注意してください。

▶ルーフの取りはずし方

1. サンシェードを取りはずします。(84ページの「サンシェードの取りはずし方」を参照してください。)
2. ①UNLOCKノブを車両前方へ押したまま、②ハンドルを引き下げます。



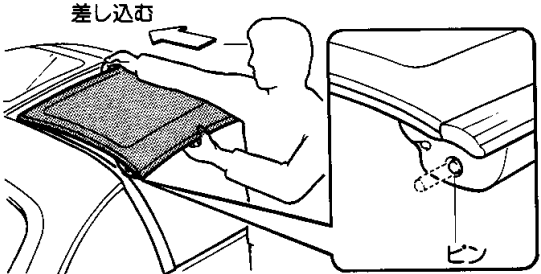
3. ①ルーフ側面を上方へ軽く持ち上げ、②トップモールから引き抜きます。



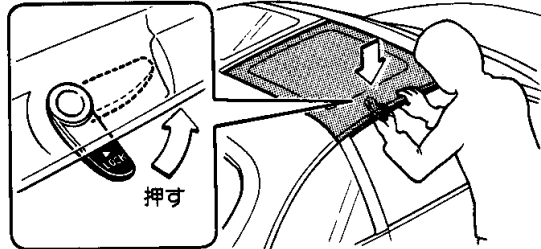
注意! 走行中はルーフの脱着操作を絶対にしないでください。

▶ルーフの取り付け方

1. ルーフ左右のロックピンが出ていないこと (ハンドルが下がった状態)を確認し、ルーフをトップモールの溝に差し込みます。



2. ルーフを静かにおろし上から押えつながら、ハンドルをカチッと音がするまで押し上げます。



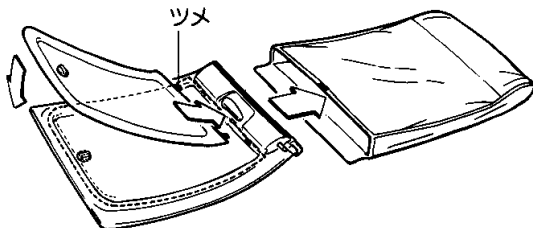
注意! 取り付けは正確に行い、必ず各部が固定されているか確認してください。

▶ルーフおよびサンシェードの格納のしかた

取りはずしたルーフおよびサンシェードは備えつけの収納袋に納めて、シートうしろ側に置き、固定ベルトで固定します。

＜収納袋への納め方＞

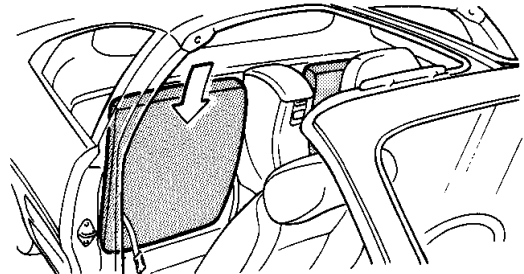
ルーフとサンシェードを一緒に収納する場合は、サンシェードのツメをルーフの切り欠きに差し込んでから収納袋に納めます。



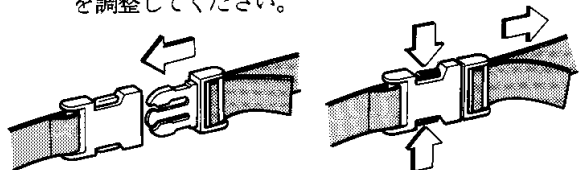
注意! ルーフを格納するときは、車体へのキズ防止のため必ず収納袋に納めてください。

＜格納のしかた＞

1. ガラスの上面を車両前方に向け、ハンドル部を下にしてシートうしろ側に置きます。



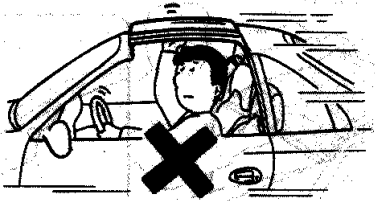
2. ベルトで固定します。ゆるいときはベルトの長さを調整してください。



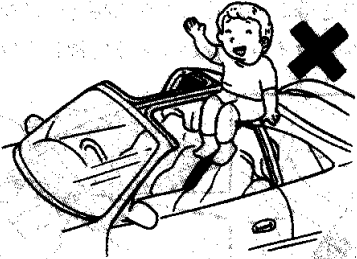


注意!

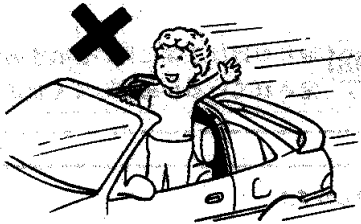
1. 走行中ルーフおよびサンシェードの脱着操作を絶対にしないでください。



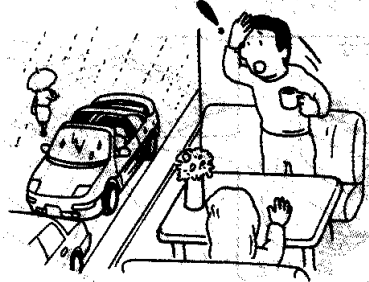
2. 開口部に腰かけないでください。



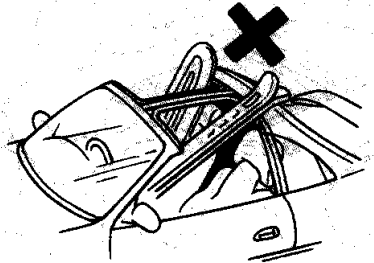
3. 走行中は危険ですから、頭や手を出さないでください。

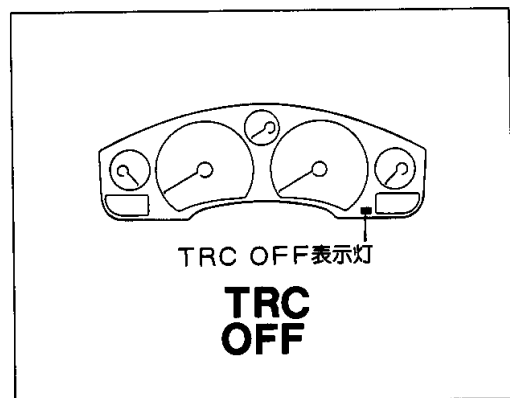
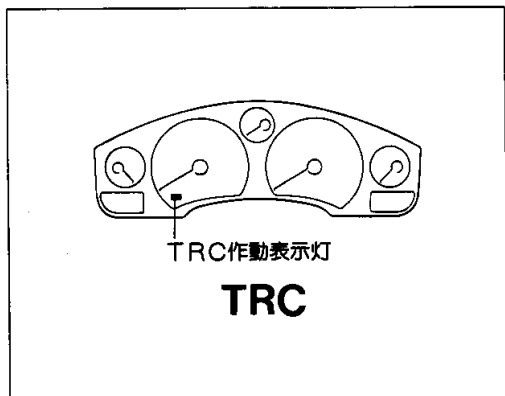


4. 車から離れるときや洗車時には、完全に閉じていることを確認してください。



5. 開口部から荷物がはみ出さないようにしてください。





トラクションコントロール(TRC)

GT、GT-Sに注文装備

トラクションコントロールは、すべりやすい路面での発進や加速時などに生じる後輪の空転を制御し、車両の安定性と後輪の駆動力を確保する装置です。

■TRC作動表示灯 & OFF表示灯

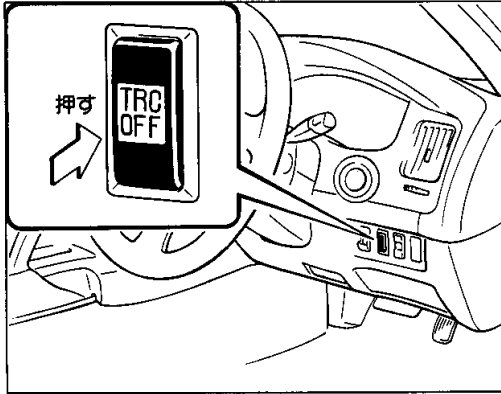
1. エンジンスイッチをONにすると作動表示灯およびOFF表示灯が点灯し、約3秒後に消灯します。同時にトラクションコントロールが作動可能状態になります。
2. トラクションコントロールが作動すると作動表示灯が点滅します。
3. トラクションコントロールが作動停止状態のときはOFF表示灯が点灯します。

通常走行時はできるだけ作動可能状態（OFF表示灯が消灯）で使用してください。



注意！

1. トラクションコントロールが作動しているときは、車両がすべりやすい状態になっていますので、作動表示灯が点滅しないよう慎重に運転してください。
2. トラクションコントロール付きの車両でも氷雪路面、凍結路面では冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着し、ひかえめな速度で運転してください。
3. 走行中、作動表示灯が点灯した場合、およびトラクションコントロールが作動可能状態でOFF表示灯が点灯したままのとき、または走行中に点灯したときは装置の異常が考えられますので、トヨタ販売店で点検を受けてください。



■TRC OFFスイッチ

1. スイッチを押すごとに作動停止状態と作動可能状態が交互に切り替わり、作動停止状態になるとTRC OFF表示灯が点灯します。
2. 通常走行時はできるだけ作動可能状態で使用してください。



ちょっと一言

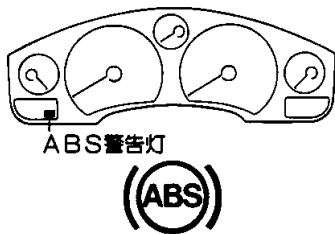
1. トラクションコントロールが正常に作動しているときは、車両の振動を感じたり、音がすることがありますが、これはブレーキ制御の作用によるもので異常ではありません。
2. エンジンを始動するとフロントトランクから“カチカチ、トン”などの音がしますが、これはトラクションコントロールの作動をチェックしている音で異常ではありません。
3. ぬかるみ、新雪などからの脱出時、アクセルペダルを踏み込んでもエンジン回転が上がらない場合があります。
4. 荒れた路面や凸凹道を走行中、作動表示灯が点滅することがありますが、異常ではありません。

4輪ABS

注文装備

急制動時やすべりやすい路面での制動時には、車輪がロックすることがあります。4輪ABSは、このような制動時の車輪のロックを自動的に防止することにより、車両の方向安定性や操舵性を確保しようとする装置です。

■ABS警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。



処置

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき

- 走行中に点灯したとき

警告灯が点灯しているときは4輪ABSは作動せず、普通のブレーキとして作動します。



注意!

- 4輪ABSが作動した状態でも車両の方向安定性や操舵性の確保には限界があります。雨天時の高速走行やスリップしやすい氷雪路の走行には過信せず安全運転に心がけてください。

- 次のような場合などには4輪ABSの付いていない車両に比べて制動距離が長くなることがありますので、速度をひかめにして車間距離を十分とってください。

- ・ジャリ道、新雪路を走行しているとき

- ・タイヤチェーンを装着しているとき

- ・道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき

- ・凸凹道や石だみなどの悪路を走行しているとき



ちよつと一言

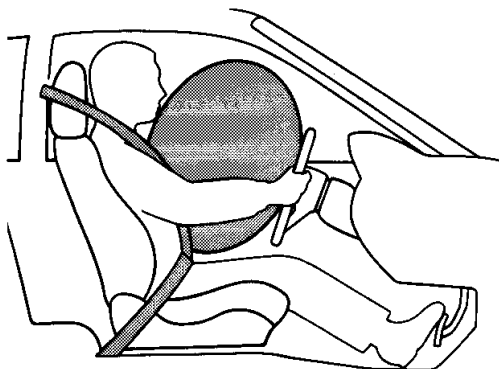
- ブレーキペダルを踏んだとき、作動音とともにペダルが小刻みに動くことがあります。これは4輪ABSが正常に作動しているときの現象で異常ではありません。さらにブレーキペダルを強く踏み続けてください。

- エンジン始動時や始動後の発進直後および走行中にフロントトランクからモーター音が聞こえることがあります。これはシステムの作動チェックおよび正常に作動しているときの音で異常ではありません。

- 4輪ABSは、発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また、車速が約5km/hまで下がると作動をやめます。

SRSエアバッグ

注文装備



SRS* エアバッグは、運転者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときにふくらみ、シートベルトが身体を拘束する働きとあわせて顔や頭がハンドルに直接衝突するのを防止する装置です。シートベルトは必ず着用してください。(36ページ参照)

*SRSはSupplemental Restraint Systemの略で、乗員保護補助装置の意味



処置

エアバッグは一度ふくらむと再使用できません。必ずトヨタ販売店で交換してください。

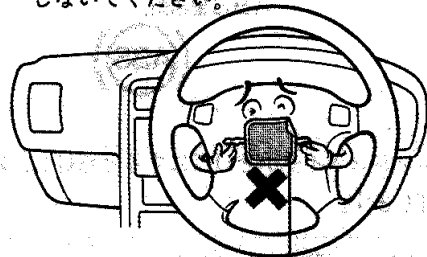


注意!

● SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置で、シートベルトに代わるものではありません。SRSエアバッグの効力を発揮させるため、次の事項を必ず守ってください。

- ・シートを正しい位置に調整する (32ページ参照)
- ・シートベルトを正しく着用する

● SRSエアバッグを正常に作動させるため、パッド部をカバーやステッカーなどで覆わないでください。また、ハンドルに強い衝撃を与えないでください。



ステッカー

● 次のような場合は必ずトヨタ販売店にご相談ください。

- ・ハンドルを取りはずすとき
- ・エアバッグを廃棄するとき
- ・廃車するとき



ちよつと一言

SRSエアバッグは車両前方から強い衝撃を受けたときに作動します。次のような衝撃が弱いときには作動しないことがあります。

- コンクリートの壁に約20km/h以下の速度で正面衝突したとき
- 電柱に約30km/h以下の速度で正面衝突したとき

なお、次のような場合は効果を発揮しません。

- 側面や後方から衝撃を受けたとき
- 車両が横転、転覆したとき